

広告付き避難案内板

東海地方初 市内3カ所に設置

湖西市は、市役所と市民会館、市健康福祉センターの前に、災害時の避難場所を記した案内板を設置した。案内板は広告付きで、広告を募集・仲介するNPO法人が広告収入で設置・維持管理すること

で、市は負担なく整備できた。二十六日

は、市役所前で除幕式が開かれた。

市などによると、広告付き避難誘導案内板の整備は東海地方初という。設置と維持管理を担うのはまちづくりを研究するNPO法人日本ソフトインフラ研究センター（東京都）。

案内板は、縦二メートル、横一・五メートル。設置場所から半径二キロほどの地図を表示しており、ふ

だんから避難場所を周知するとともに、災害時は地理に不案内な人らに活用してもらおう。一基の費用は五十万円程度で、広告費は月額一万円。

市役所前の地図では、鷺津小学校と中学校に避難場所のマークを表示。ほかに公共施設や寺院なども入れ、海拔も記した。

市は、同NPO法人のほかもう一企業と提携し、広告付き案内板を鷺津駅前など市内六十カ所に設置する予定。これ以外に、広告効果が薄く広告付きでは立てられないが、必要な場所は市が独自で整備する。除幕式に



市役所前に設置された案内板＝湖西市で

は、三上元市長とNPO長が出席した。

○法人の田中弘昭理事

（加藤祥子）